

# WordPress ブロックエディタの基本

## ブロックエディタの概要と利点

- コンテンツ要素（文章、画像、見出し等）を「ブロック」単位で扱う
  - 各ブロックは個別に編集、移動、削除が容易です
- HTML タグ編集を削減し、視覚的な操作を重視（専門知識が不要）
- 直感的な操作で柔軟なレイアウト構築が可能
  - ドラッグ&ドロップや設定パネルで調整
- 完成イメージに近い形でコンテンツを作成できる
  - 編集画面表示がサイト表示に近く、効率的な作業が可能です

## 段階 1: 新規投稿または固定ページの作成画面を開く

- WordPress 管理画面にログイン
- 左側メニューより「投稿」または「固定ページ」を選択し、「新規追加」をクリック
  - ブログ記事: 「投稿」 > 「新規追加」（時系列情報）
  - 単独ページ: 「固定ページ」 > 「新規追加」（静的情報）
- 画面上部の「タイトルを追加」フィールドにタイトルを入力
- その下の広い領域がコンテンツ作成エリア

## 段階 2: ブロックを追加する

- コンテンツはすべてブロックとして追加
- **方法 1: 「+」ボタンの利用**
  - 左上隅の大きな「+」アイコンから一覧表示（カテゴリー別、検索可）
  - コンテンツエリア内の小さな「+」ボタンから簡易リスト表示
- **方法 2: スラッシュ (/) コマンドの利用**
  - 段落ブロックで「/」を入力し、ブロック名の一部で候補を絞り込み選択

## 段階 3: 主要なブロックの理解

- **段落:** 通常文章書式設定、色、リンク設定等が可能
- **見出し:** コンテンツ構造化（H2～H6）文字サイズ、色設定が可能
- **画像:** 画像挿入キャプション、サイズ、配置設定が可能
- **リスト:** 箇条書き/番号付きリスト作成情報の整理に有用
- **引用:** 引用文表示引用元テキスト追加、書式設定が可能信頼性、著作権保護に重要
- **ギャラリー:** 複数画像表示カラム数、配置、キャプション設定が可能
- **区切り:** コンテンツ間に水平線を挿入視覚的な区切り、可読性向上に有用
- **スペーサー:** コンテンツ間に空白を追加高さ調整（ピクセル単位）
- その他、ボタン、カラム、カバー等も存在

## 段階 4: ブロックの設定（ツールバーとサイドバー）

- **ブロックツールバー:**
  - ブロック選択時に表示される「クイック設定」
  - 選択ブロックで頻繁に使用される機能が集約
- **サイドバー（ブロック設定）:**
  - 右側サイドバーの「ブロック」タブ
  - 選択ブロックの詳細設定（文字サイズ、色、余白、境界線等）
  - 「高度な設定」でカスタム CSS クラス追加も可能
- **サイドバー（投稿設定）:**
  - 右側サイドバーの「投稿」タブ
  - 記事全体のメタ情報管理  
（公開状態、パーマリンク、カテゴリー、タグ、アイキャッチ画像等）

## 段階 5: ブロックの移動および削除

- **移動:**
  - ツールバーの上下矢印で隣接ブロックと順序変更
  - ツールバーのドラッグハンドルで任意の位置へドラッグ&ドロップ
- **削除:**
  - ブロック選択、ツールバー右端オプションメニューから「[ブロック名] を削除」
  - 誤削除時は「元に戻す」ボタンで取り消し可能

## 段階 6: 保存とプレビュー

- **保存:**
  - 右上の「下書きとして保存」（未公開時）または「更新」（公開済み時）ボタンをクリック
  - 下書き保存で非公開作業が可能
- **プレビュー:**
  - 保存ボタン隣の「プレビュー」ボタンでサイト表示を確認（新規タブ可）
  - 公開前に必ずレイアウト、デザイン、誤字脱字等を確認
  - 異なるデバイス（PC、タブレット、モバイル）での表示確認が重要